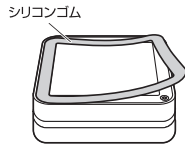


電池の交換方法

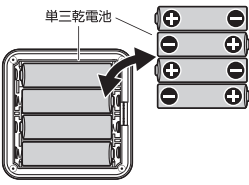
①本体裏のシリコンゴムを外します。



②プラスドライバーを使って4ヶ所ネジを外します。



③ケースを開けて単三乾電池を交換します。正しい極性を入れてください。



④これまでと逆の手順で本体を閉じネジを締めシリコンゴムを元に戻します。

メーカーや型番が異なる乾電池を混合して使用しないでください。機器の故障の原因となります。

初期設定について

出荷時の各スロットの初期設定は以下の通りです。

スロット	データフォーマット	発信間隔	TxPower	RSSI値
S L O T 1	iBeacon	900ms	0dBm	(-59)dBm
S L O T 2	Empty	-	-	-
S L O T 3	Empty	-	-	-
S L O T 4	Empty	-	-	-
S L O T 5	Info(Device info)	4000ms	-8dBm	-
S L O T 6	Empty	-	-	-

※iOSの設定アプリをご活用いただく場合、InfoデータにてMACアドレスを確認しております。(デフォルト:SLOT5)また、Info(Device info)が設定されていないとMACアドレスが表示されません。

初期設定にリセットする方法

①「GENERAL」メニューの「Factory reset」をタップします。②「Warning」画面が表示されたら「Yes」をタップします。リセットが完了します。



保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社指定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - 保証書をご提示いただけない場合。
 - 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - 譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負いません。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いません。
- 修理に依頼品を郵送、またはご持参される場合の送料費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書

サンワサプライ株式会社

型番: MM-BLEBC4	シリアルナンバー:
お客様・お名前・ご住所・TEL	
販売店名・住所・TEL	
担当者名	
保証期間 6ヶ月 お買い上げ年月日 年 月 日	

サンワサプライ株式会社

ver.1.4

岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
 東京サブライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
 札幌営業所 / 〒060-0808 札幌市北区八雲西4-1-1 (ストラルビル) N8 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
 仙台営業所 / 〒983-0852 仙台市青葉区榴岡1-6-37 TM仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
 名古屋営業所 / 〒453-9014 愛知県名古屋市中区栄1-16-18 CUBE MEIKI TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
 大阪営業所 / 〒532-0003 大阪府淀川区豊原4-3-36 ONEST新大阪スクエア TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
 広島営業所 / 〒732-0828 広島県広島市南区京橋町7-1-8 新井ビル TEL.082-284-2716 FAX.082-284-2717
 福岡営業所 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-3 博多八百ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

CE/AC/DY/DaOs

仕様

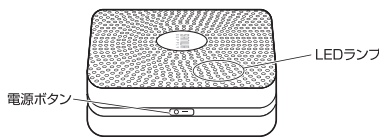
通信方式	BLE
電波到達距離	数m~100m以上(8段階設定) ※1
発信間隔	100~5000ms ※推奨100~1000ms ※2
データフォーマット	iBeacon Eddystone(UID/URL/TLM)Info
防塵・防滴性能	IP65
センサー	温度(内部)
サイズ	1個
サイズ・重量	W72×D72×H23mm・約109g
使用電池	単三乾電池4本(5800mAh)
電池寿命	数ヶ月~10年程度 ※設定による
動作環境	-30~60℃

※1:電波到達距離はあくまで目安であり、実際の距離は物理的環境により異なります。
 ※2:発信間隔や発信強度の設定値によって電池消耗は増減します。

特長

- iBeacon-Eddystoneに対応したBLEビーコンです。
- 最大で6スロット同時発信するマルチアドバタイズが可能。6スロットを同一データフォーマットで発信することも、全て異なるデータフォーマットを使用したいデータフォーマットのみで設定することも可能です。
 ※TLMのみ1スロット限定です。
- IP65の防塵・防滴性があります。
- 電源ON-OFFが可能なので無駄な電池消費を抑えます。
- 送信範囲は数m~100mの間で8段階設定が可能です。
- 電波発信のインターバルは100~5000msから選択可能です。
- 単三乾電池採用で最長10年動作します。
 ※発信間隔や電波発信強度などにより変動します。
- パスワード保護機能と通隔操作停止モード機能がセキュリティ対策も安心です。
- 設定はAndroid/iOS用の専用アプリで設定変更が可能です。

各部の名称



LED・各種操作について

動作・状態	操作方法	LED表示
電源ON	電源OFFの状態 電源ボタンを3秒以上長押し ※約1分のスタンバイ後、 設定されたデータを発信開始します。	5秒間青色点灯 →1分後、 3回青色点滅
電源OFF	電源ONの状態 電源ボタンを3秒以上長押し	5回青色点滅
BLE接続時	-	2回青色点滅
BLE切断時	-	3回青色点滅
電池残量低下時	-	赤色点滅

アプリを起動してビーコンと接続する



BeaconSET+

ビーコン設定用アプリ「BeaconSET+」を本製品の各種設定ツールとしてAndroid/iOS用を用意しております。下記QRコードからGoogle PlayまたはApp Storeにアクセスし、アプリをダウンロード・インストールしてください。



iOS8~



Android 4.3~

■ iPhone (iOS) の場合

①モバイル端末のBluetooth・位置情報をONにします。



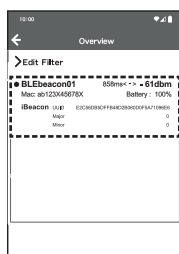
②「BeaconSET+」を起動します。



③ビーコンの電源が入っていることを確認します。

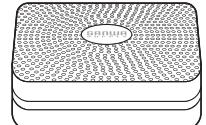


④MACアドレスを確認して設定するビーコンを選択します。



MM-BLEBC4

大容量バッテリー搭載 マルチアドバタイズBLE Beacon(3個セット) 取扱説明書



この度は、大容量バッテリー搭載マルチアドバタイズBLE Beacon(3個セット)【MM-BLEBC4】(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しております。ご使用の前によくご覧ください。読み終わったあとにもこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

- ①BLEビーコン 3個
 - ②両面テープ 3枚
 - ③取扱説明書・保証書(本書) ... 1部
- ※欠品や破損があった場合は、品番(MM-BLEBC4)と上記の番号(①~③)と名称(両面テープなど)をお知らせください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

⚠警告 人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の内容

- 分解、改造はしないでください。
 (火災、感電、故障の恐れがあります) ※保証の対象外になります。
- 小さな子供のそばでは本製品の取外しなどの作業をしないでください。
 (小さな部品を飲み込んだりする危険性があります)

⚠注意 人がけがを負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容

- 取付け取外しの際は慎重に作業を行ってください。機器の故障の原因となります。
- 次のようなところで使用しないでください。
 - (1)直接日光の当たる場所
 - (2)傾斜のある不安定な場所
 - (3)静電気の発生する場所
 - (4)通常の生活環境とは大きく異なる場所
- 他の2.4GHzの電波を利用する機器の影響を受ける場合があります。影響が出た場合は使用場所を変えるなどの対策を行ってください。
- 電波が正しく送信されているか、定期的に確認してください。
- お手入れについて
 - (1)清掃する時は電源を必ずお切りください。
 - (2)機器は柔らかい布で拭いてください。
 - (3)シンナー・ベンジン・ワックス等は使わないでください。

⑥選択したビーコンと接続して設定モードになると、パスワードの入力画面が開きますので「sss12345」と入力して、Yesボタンをタップします。



⑦「General」画面が表示されます。



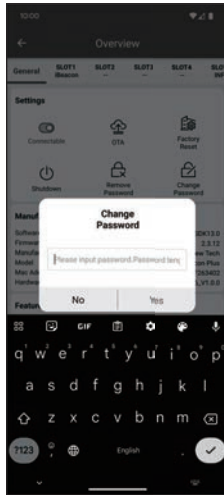
パスワードの変更方法

初期設定(パスワード) **sss12345**

①「GENERAL」メニューの「Change Password」をタップします。



②入力画面が表示されパスワードを変更できます。(8文字)



パスワードはビーコンとの接続に必要になります。忘れないようご注意ください。



「Remove password」でパスワードを削除するとパスワードなしでダイレクトに接続可能になります。

③ iOSでは「Remove Password」「Modify password」の順で表示されます。

ビーコンの接続を保護する

「GENERAL」メニューの「Connectable」をOFFにするとビーコンへの接続を保護できます。再度接続する場合、アプリでビーコンを選択してから本体の電源ボタンを押すと再接続が可能です。



スロットの設定画面について

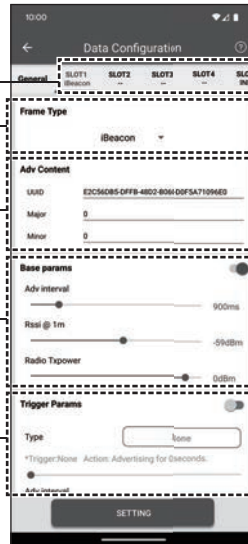
設定したい「SLOT」を選択します。

使用するデータフォーマットを「Frame Type」で選択します。

「Frame Type」で選択した内容を設定します。

・Adv interval
・Rssi
・Txpower
を必要に応じて設定できます。

トリガーモードの使用時に設定します。



トリガーモードの設定方法

①各スロットの「Trigger」メニューで設定可能です。ボタンを押す回数や加速度をトリガーに電波発信します。

「Base params」AをONにして「Trigger Params」BもONにすると、通常は「Base params」で発信しトリガー後は「Trigger Params」で指定秒数発信し「Base params」に戻ります。

「Base params」AをOFFにして「Trigger Params」BもONにするとトリガー後のみ指定秒数だけ「Trigger Params」の設定で発信します。※「Base params」「Trigger Params」両方をOFFにはできません。

トリガーモードを使用する場合は「ON」を選択します。

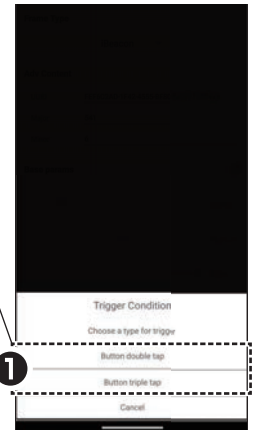
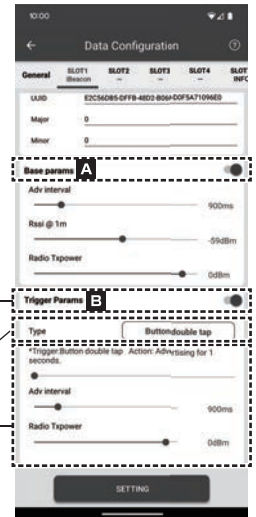
トリガー「Type」を選択します。詳細は①を参照してください。

トリガー発信時の発信秒数、Adv Interval、TxPowerを設定してください。

「Type」をタップするとトリガーの種類を選択するメニューが開きます。

- 「Button double tap」…(電源ボタン2回タップ)
- 「Button triple tap」…(電源ボタン3回タップ)

2タイプからトリガーの種類を選択できます。



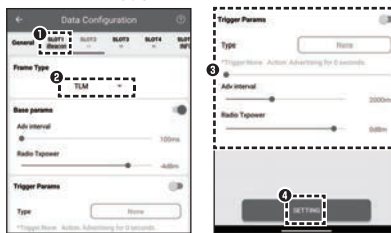
iBeaconの設定方法

- ①設定したい「SLOT」を選択します。
- ②プルダウンメニューから「iBeacon」を選択します。
- ③「Major」「UUID」「Minor」を入力します。
- ④Adv interval-Rssi-Txpowerを必要に応じて設定してください。
- ⑤iOSの場合は「Config」、Androidの場合は「SETTING」をタップし保存します。



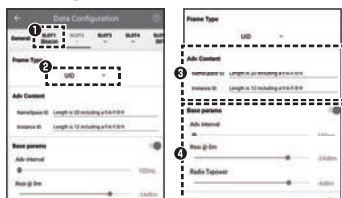
Eddystone-TLMの設定方法

- ①設定したい「SLOT」を選択します。
 - ②プルダウンメニューから「TLM」を選択します。
 - ③Adv interval-Txpowerを必要に応じて設定してください。
 - ④iOSの場合は「Config」、Androidの場合は「SETTING」をタップし保存します。
- ※TLMは1スロットのみで使用できます。



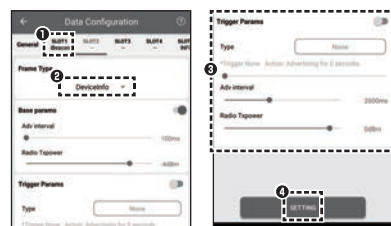
Eddystone-UUIDの設定方法

- ①設定したい「SLOT」を選択します。
- ②プルダウンメニューから「UID」を選択します。
- ③「Instance ID」「Namespace ID」を入力します。
- ④Adv interval-Rssi-Txpowerを必要に応じて設定してください。
- ⑤iOSの場合は「Config」、Androidの場合は「SETTING」をタップし保存します。



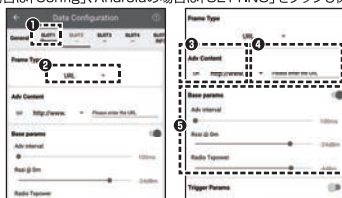
Device info (Info)の設定方法

- ①設定したい「SLOT」を選択します。
 - ②プルダウンメニューからiOSの場合は「Info」、Androidの場合は「Device info」を選択します。
 - ③Adv interval-Txpowerを必要に応じて設定してください。
 - ④iOSの場合は「Config」、Androidの場合は「SETTING」をタップし保存します。
- ※Device info(Info)は1スロットのみで使用できます。



Eddystone-URLの設定方法

- ①設定したい「SLOT」を選択します。
- ②プルダウンメニューから「URL」を選択します。
- ③「http://」、「https://」、「http://www.」、「https://www.」から選択します。
- ④以降のURLを17文字以内で入力します。(文字によっては短縮URLを作成)
- ⑤Adv interval-Rssi-Txpowerを必要に応じて設定してください。
- ⑥iOSの場合は「Config」、Androidの場合は「SETTING」をタップし保存します。



独自規格のデータフォーマットについて

お客様固有の設定はありません。

Info (Device info)

やつ	長さ	タイプ	データ・デフォルト	内容
0	1	Data Length	2	—
1	1	Flag data Type	1	—
2	1	Flag data	0x06	—
3	1	Data Length	3	—
4	1	Complete list of 16-bit Service UUIDs	0x03	—
5	2	UUID data	0xE1FF	0xFFE1 little-endian
7	1	Data Length	16	—
8	1	Service data	0x16	—
9	2	UUID data	0xE1FF	0xFFE1 little-endian
11	1	Frame Type	0xA1	—
12	1	Version Number	0x08	—
13	1	Battery level	例)0x64	電池残量100%
14	6	Mac address	例)0xEEDCC8BAA	AA:BB:CC:DD:EE little-endian
20	4	Name	"PLUS"	固定

not iBeacon:iBeaconフォーマット使用時5回に1回発信します。

やつ	長さ	タイプ	データ・デフォルト	内容
0	1	Data Length	2	—
1	1	Flag data Type	1	—
2	1	Flag data	0x06	—
3	1	Data Length	3	—
4	1	Complete list of 16-bit Service UUIDs	0x03	—
5	2	UUID data	0xF1FF	0xFFFF little-endian
7	1	Data Length	23	—
8	1	Service data	0x16	—
9	16	128bit UUID	"E2C56D85-0FFB-4802-806C-0D0F8A71096E0" (デフォルト)	iBeacon UUID値
25	2	Major	"0" (デフォルト)	iBeacon Major値
27	2	Minor	"0" (デフォルト)	iBeacon Minor値
29	1	Tx Power	"0xC5" (デフォルト)	iBeacon RSSI値
30	1	Battery level	例)0x64	電池残量100%